

第 6 次小山市行政改革大綱実施計画の進捗状況について

1. 実施計画の取組効果額

平成 28 年度の効果額実績は、441,703 千円であり、5 年間の計画期間における目標効果額 2,420,787 千円に対する目標効果額比率は 39.5%でした。

		平成 28 年度	(参考)平成 27 年度
効果額実績	各年度	441,703 千円	514,690 千円
	累計	956,288 千円	514,690 千円
目標効果額	各年度	413,245 千円	406,598 千円
	最終年度	2,420,787 千円	
達成率	対 当該年度	106.9%	126.6%
	対 最終年度	39.5%	21.3%

2. 効果額の達成率の高い取組・低い取組

(1) 効果額の達成率が高い取組 5 項目

No.	取組項目	担当課	実施状況・主な取組内容
48	ジェネリック医薬品の利用促進	国保年金課	<p>【28 年度の取組】年 4 回差額通知発送、公民館まつり・講演会等でのシール配布、医師会・薬剤師会に協力依頼。</p> <p>【効果額】保険者負担額の軽減効果 ：目標 25,000 千円/実績 87,327 千円 達成率 349.3%</p>
63	ふるさと納税制度の活用	総合政策課	<p>【28 年度の取組】本場結城紬商品の拡充及び体験型謝礼品として市内温泉施設宿泊クーポンを追加。謝礼品として高齢者の見守り訪問活動を検討。</p> <p>【効果額】寄附者への謝礼品贈呈経費控除後の額 ：目標 50,000 千円/実績 69,762 千円 達成率 139.5%</p>
64	市有地の有効活用	管財課	<p>【28 年度の取組】法定外公共物及びその他市有地の払下申請に基づき、順次払下手続きを進めた。</p> <p>【効果額】未利用地の売却等による収入額 ：目標 100,000 千円/実績 113,611 千円 達成率 113.6%</p>
62	公共施設等における広告料収入等の確保	管財課	<p>【28 年度の取組】動画広告機器の設置について、広告会社との協定を更新した。更新に伴い、設置する機器を 3 台増やし、広告料を増額した。</p> <p>【効果額】年度ごと広告料収入額見込と H25 年度収入額 3,958 千円の差額 ：目標 1,186 千円/実績 1,244 千円 達成率 104.9%</p>
43	職員給の見直し	職員活性課	<p>【28 年度の取組】①職位と職務の級の一致に向けて取り組み、降格に伴う現給保障を廃止した。②特殊勤務手当の一部を廃止した。</p> <p>【効果額】職員給の見直し額 ：目標 83,160 千円/実績 60,963 千円 達成率 73.3%</p>

※目標は最終年度(H31 年度)の値、実績は H27・28 の累計値

(2) 効果額の達成率が低い取組 3 項目

No.	取組項目	担当課	実施内容及び進捗が遅い理由等
44	公共工事コストの縮減	管財課	<p>【28年度の取組】全国的に震災の復興特需等により資材の高騰や担い手の不足等による市場単価が上昇していることから、コスト削減が難しい状況を踏まえ、新たな取組みに向けた調査検討をした。</p> <p>【達成率が低い理由等】震災の復興特需等により資材の高騰や担い手の不足等による市場単価が上昇しており、コスト削減が難しい。</p> <p>【効果額】対策前設計と対策後設計額との差額 : 目標 210,000 千円 / 実績 0 千円 達成率 0.0%</p>
36	定員管理の適正化	職員活性課	<p>【28年度の取組】①各所属の再任用可能なポストを調査②職員増減員及び組織機構の見直し要望に基づき、各部局等にヒアリングを実施③ヒアリング等に基づき、職員数の検討及び試験委員会において職員数を決定④技術職(土木・建築・機械)職員を確保するため、技術職を対象とした早期試験を実施</p> <p>【達成率が低い理由等】 経験豊富な再任用職員を積極的に活用しながらも、組織力を低下させることなく新たな行政需要に対応するために年齢層や職種ごとの職員数の平準化を視野に職員を確保したため。</p> <p>【効果額】職員給与の削減額(職員 1 人当たり平均給与等×職員の増減数) : 目標 241,056 千円/実績 7,533 千円 達成率 3.1%</p>
46	交通安全灯のLED化の推進	生活安心課	<p>【28年度の取組】老朽化により壊れた交通安全灯のLED灯への交換を行った。</p> <p>【達成率が低い理由等】自治会からの要望に基づき実施しており、平成28年度は要望が少なかったため目標値に及ばなかった。今後は要望箇所のみ実施するのではなく、市内巡回時に劣化している交通安全灯を発見し積極的に交換することも検討していく。</p> <p>【効果額】電気料金削減額 : 目標 1,275 千円/実績 137 千円 達成率 10.7%</p>

※目標は最終年度(H31年度)の値、実績はH27・28の累計値を使用

3. 実施計画の取組進捗度

A: 計画より早い取組	10 項目
B: 計画通り取組	64 項目
C: 計画よりやや遅い取組	25 項目
D: 計画より大幅に遅い取組	4 項目

(1) 進捗度 A (計画より早い) 取組 10 項目

No.	取組項目	担当課	実施内容等
28	未利用工業用地への誘致促進	工業振興課	<p>【達成目標】未利用工業用地への企業誘致(28年度までに2件)</p> <p>【28年度の取組等】工業用地照会に対し、積極的に対応し、1件の誘致に成功した。(27年度に2件誘致済。)</p>
41	市債残高の適正な管理	財政改革課	<p>【達成目標】平成30年度の市債残高を935億円</p> <p>【H28年度の取組等】一般会計では臨時財政対策債の減により6億6千万減、特別会計の償還による14億5千万減、企業会計の償還による4億7千万減等により、削減目標額より10億削減できた。</p>

45	公用車のエコカー導入	管財課	<p>【達成目標】エコカーの導入台数 15 台</p> <p>【28 年度の取組等】旧型の共用車から、更新対象として適切な車両を選定し、計画台数の6台より多い、8台のエコカーを導入した。</p>
48	ジェネリック医薬品の利用促進	国保年金課	<p>【達成目標】ジェネリック医薬品使用率 80%</p> <p>【28 年度の取組等】年4回差額通知発送、公民館まつり・講演会等でのシール配布、医師会・薬剤師会に協力を依頼したことにより、指標・効果額ともに目標を上回る実績となった。(指標: 目標 65.0%/実績 70.8%、効果額: 目標 5,000 千円/実績 51,312 千円)</p>
51	個人住民税の特別徴収の推進	市民税課	<p>【達成目標】個人住民税の特別徴収実施率 80%</p> <p>【28 年度の主な取組】市ホームページや広報おやまへの掲載や制度内容のチラシを特別徴収関係書類に同封、また、年末調整説明会にて周知を行い、啓発活動を行った。県内市町と会議などを通じて特別徴収推進に関する情報交換を行った。これらにより個人住民税の特別徴収実施率は 84.1%となった。</p>
53	電子申告の推進	市民税課	<p>【達成目標】電子申告の利用率を上げる(利用率 65.0%)</p> <p>【28 年度の取組等】各事業所に対して、チラシを特別徴収関係書類に同封し、電子申告の普及に向けた啓発を行った。これにより、「申告届出総件数に占めるエルタックス法人市民税申告・諸届出件数の率」は 38.0%の目標に対し、実績 51.3%となった。「総対象件数に占める年金・給与報告の電子申告利用件数の率」は目標 58.5%に対し、実績 65.0%となり、ともに目標値を上回る実績となった。</p>
54	固定資産税未調査家屋等調査の強化	資産税課	<p>【達成目標】年間 50 棟以上の家屋を調査する</p> <p>【28 年度の取組等】 新增築調査時や、市内巡回時に把握した未調査物件について、調査し課税した。今年度は 160 棟の調査を行い、約 187 万円を課税した。</p>
64	市有地の有効活用	管財課	<p>【達成目標】未利用地の売却等による歳入確保(100,000 千円)</p> <p>【28 年度の取組等】法定外公共物及びその他市有地の払下申請に基づき、順次払下手続きを進めた。当該年度も法定外公共物の払下申請が一定数あり、またその他の未利用地についても、順調に売払えたことから、28 年度の売却額は 110,785 千円となり、早期に目標額を達成できた。</p>
78	ボランティアと協働のイベント運営	商業観光課	<p>【達成目標】イベント運営へのボランティア活用の拡充</p> <p>【H28 年度の取組等】市民活動センター及びシルバー大学から、イベントの都度ボランティアを募集し、小山市観光協会及び市主催事業に、年次目標値の 28.0%を超える 71.6%ものボランティアを活用することができた。</p>
85	公園愛護里親会の組織の拡充	水と緑の推進課	<p>【達成目標】公園愛護里親会の組織の拡大)</p> <p>【H28 年度の取組等】平成 27 年度に引き続き、整備計画段階での地域住民によるワークショップに参加して、愛護里親会の PR を実施した。また、地元自治会や公園利用団体に愛護里親会の PR を行った。</p> <p>愛護里親会が組織されている公園数は 140 となり、目標の 137 を上回った。</p>

(2) 進捗度D (計画より大幅に遅い) 取組 4 項目

No.	取組項目	担当課	実施内容及び進捗が遅い理由等
37	簡素で効率的な組織機構の構築	職員活性課	<p>【達成目標】3 組織数の削減</p> <p>【28 年度の取組等】重点政策課題を実現するため、組織機能強化を目的とした組織機構の改編案策定(～29 年 3 月)</p> <p>【進捗が遅い理由等】組織のスリム化に向けて業務移管や組織統廃合を実施したが、重点事業の実現に向けた組織機能の強化を優先したことにより、結果的に組織の簡素化には繋がらなかった。</p> <p>次年度以降は、組織機能強化と効率・簡素化の両立をめざす。</p>
44	公共工事コストの縮減	管財課	<p>【達成目標】公共工事コストを毎年度 1%縮減</p> <p>【28 年度の取組等】全国的に震災の復興特需等により資材の高騰や担い手の不足等による市場単価が上昇していることから、コスト削減が難しい状況を踏まえ、新たな取組みに向けた調査検討をした。</p> <p>【進捗が遅い理由等】震災の復興特需等により資材の高騰や担い手の不足等による市場単価が上昇しており、コスト削減が難しい。</p>
60	学校給食費の収納率向上	学校教育課	<p>【達成目標】学校給食費の収納率の向上</p> <p>【28 年度の取組等】学校給食未納世帯への児童手当現金支給同意書の提出勧奨により、延べ 170 世帯が提出。納付相談の結果 4,434 千円徴収したが、児童手当は教材費にも充てられることから、学校給食費は 1,999 千円の徴収となった。学年末までに徴収できるよう 2 月中に督促状を送付。各種文書も外国人用に 5 カ国語に翻訳した。(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、タガログ語)</p> <p>【進捗が遅い理由等】学校給食費未納者への徴収は各校で対応しているほか、児童手当現金支給の同意を得て納付相談を行い、現年度の給食費を主に徴収しているが、児童手当は教材費、旅行積立、PTA 会費等にも充てられている。学校給食費は私会計のため、学校の事情により教材費等を優先にしている場合もあり、学校給食費収納率が目標を下回った。</p>
71	橋梁長寿命化に向けた計画的な維持管理	道路課	<p>【達成目標】橋梁長寿命化修繕計画内の全橋梁修繕完了(平成 34 年度)</p> <p>【28 年度の取組等】近接目視点検 198 橋実施。「詳細設計業務委託」「修繕工事」未実施。</p> <p>【進捗が遅い理由等】平成 26 年～30 年度の 5 年間で小山市が管理する 456 橋の近接目視点検を行っており、近接目視点検が全て終わり次第、判定区分が悪い橋梁の「詳細設計業務委託」「橋梁補修工事」を進めていくため。</p>